

浅野誠

# 我が庭畑

2014年9月～2015年6月

たてつづけに「我が庭畑」シリーズを出している。今回は、2014年9月から2015年7月のものだ。そのころようやく我が庭畑も形を整えてきた。畑が果樹園化しはじめたこと、庭の芝生をやめおえたことなどが、この時期の大きな変化だ。

2018年7月発行

## 目次

※ 記事配列は、ブログ掲載年月日順。

安田美知子「沖縄ハーブ健康法」WAVE出版2015年を読む	2015年06月30日
ミント5種類	2015年06月29日
ベチパー レモングラス ティートリー	2015年06月24日
大量のカニステルの赤ちゃん	2015年06月22日
アマリリス	2015年06月19日
ライチの収穫	2015年06月13日
葉野菜 カンダバー リュウキュウアシタバ ミツバ ツルムラ モロヘイヤ ルッコラ	2015年06月09日
ゲッキツ ストレリチャ	2015年06月06日
バナナの収穫	2015年06月04日
ゴーヤ ナーベラ シマラッキョウ	2015年05月31日
夏野菜へ	2015年05月26日
ガクアジサイ サガリバナ オクラレルカの実? 黄色のユリ	2015年05月19日
オレガノの花 ボッグセージの花 ランタナの花 月桃の花 池光景	2015年05月13日
つる日日草 コデマリ	2015年05月07日
花ーミフクラギ リュウキュウハギ スパテフィルム バンシルー ディゴなど	2015年05月04日
初夏の我が庭畑のいろいろ	2015年05月01日
ティートリー メドウセージ ユリ ガクアジサイ	2015年04月27日
コーヒーの木の花	2015年04月23日
ティートリー トウワタ オクラレルカ セイロンベンケイ	2015年04月11日
とけいそう オクラレルカ アマリリス 花アロエ ねこのひげ ソテツの新葉	2015年04月06日
ビワの実 ベランダで戯れる孫たち 満開ブーゲンビリア マンゴの赤ちゃん	2015年04月03日
庭通路改造中 ルッコラの花	2015年03月28日
トウワタ ビワの実 ソテツの新葉 ブルーベリーの花	2015年03月24日
オレガノ コリアンダー (パクチー) ヤロー メキシカンスイートハーブ	2015年03月18日
三つ葉 にがな ゴボウ 野菜いろいろ	2015年03月12日
ハーブ フェンネル フローレンスフェンネル ディル	2015年03月07日
マンゴー メイフラワー ナデシコ	2015年03月01日
月桃の代わりに、ジャボチカバとキンカンの植え替え ベンチ第二弾	2015年02月23日
木の枝にランをはわせる	2015年02月16日
野菜の混植	2015年02月09日
出番待ちの果樹 びわ マンゴー カニステル バナナ	2015年02月06日
芝のあとを改造する庭の堆肥作り ネズミ出現	2015年02月03日
ベンチづくり 失敗芝生の後の模様替え	2015年01月28日
大根など野菜収穫が盛んになる	2015年01月20日
樹木の剪定ほぼ完了	2015年01月16日

堆肥づくり パッションフルーツの枝葉きり 里芋収穫	2014年12月29日
ベコニア ナデシコ ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト ペンタス	2014年12月27日
自然農法の話	2014年12月20日
庭の花 どうわた つわぶき 千年木 つばき	2014年12月19日
タイム チャービル カモミール	2014年12月13日
三尺バナナが実をつける	2014年12月09日
パッションフルーツの大収穫	2014年12月02日
サトウキビとススキ ブーゲンビリア	2014年11月27日
南城市オープンガーデン、すべて見学し終える 大城正明さん宅訪問で	2014年11月25日
南城市オープンガーデン 大城利広さん、川平賀清さん宅	2014年11月25日
アップルミント バジル ヤロー カラミント ルッコラ	2014年11月20日
コーヒーの豆収穫 ニンニクカズラ開花	2014年11月14日
11月に咲くサガリバナ=サワフジの花の14時間	2014年11月10日
ローズマリー オレガノ レモングラス ベチパー 台風をものともしないハーブたち	2014年11月05日
色づくコーヒーの実 リュウキュウハギとクミスクチンの開花 サボテンの再生	2014年10月31日
台風後片付け 大根などの種苗植え ナスタチウム ブルーベリー	2014年10月24日
パッションフルーツの開花結実 サボテン植え バナナコンテナ	2014年10月19日
台風19号が倒した木々	2014年10月13日
クワンソウの花 トレニア・コンカラーの花	2014年10月09日
サンゴサボテンならぬユーフォルビア・ラクティア・クリスタータ	2014年10月06日
マンゴー剪定	2014年9月30日
ナタマメ	2014年9月23日
ニラとカンダバーの収穫	2014年9月12日
我が家の夕陽さえぎり役の千年木	2014年9月08日
モロヘイヤ ウリズン豆 ツルムラサキ 我が畑の最新野菜事情	2014年9月04日



## 安田美知子「沖縄ハーブ健康法」WAVE出版2

015年を読む

2015年06月30日

しばし前に著者の「引きうける生き方」を読んだが、今回は「沖縄ハーブ」のタイトルにひかれて購入。ハーブの本はたくさんあるが、沖縄のハーブという本は滅多にない。

読みながら、私と共通するところが多いことを発見。並べよう。

- ・病気の連続だったこと。
- ・ハーブを活用して健康を得てきたこと。
- ・医療を活用するが、「治す」のは自分自身だと考える点。自分の身体のことをよく知ろうとする。

・登場するハーブも、我が庭畑で栽培し、私が活用しているものも90%が同じだ。

西洋起源のハーブだけでなく、本書に出てくる沖縄ハーブ？琉球ハーブ？のクミスクチン・フーチバー・サンニン・ウッチン・クワンソー・長命草・ニガナ・ハンダマなどは、我が畑でも栽培している。

沖縄という土地にあったハーブと付き合っ、私は10年余り。著者ほどの長さはないが、落ち着くところは同じなのだろう。

無論、プロとしてハーブをしておられる著者と、私とは雲泥の差がある。とくに料理での活用は、参考になることが多い。

また、ヨーロッパの店頭「琉球ハーブ」が並んでいるのは、初めて知った。

共通点が多いが、無論違いもある。著者は、すごい。80歳過ぎても3時間睡眠で、色々な活躍をなさっている。いろいろな難題にもまっすぐに「引き受けて」取り組んでいかれる。とにかく強さを感じる。

これに私は、8時間睡眠をしないとやっていけない。著者のように強くない。そして、休み休みであり、難題があると、避けたりする。仕事を減らそうと工夫をする。自分を保持できそうにない時は、避け、減らし、休む。それでやっとながらえてきた、という感じだ。

あきらめるとか、時に任せ、物事が熟することを待つとかいうのも、私の在り方かもしれない。20年前までは、まだガンバリズムがあったが、今はどこか遠くの方に去っていったみたいだ。

人さまごまだから、それでいいと思う。

ハーブも自分流で、多くの方が活用したらいい、と思う。

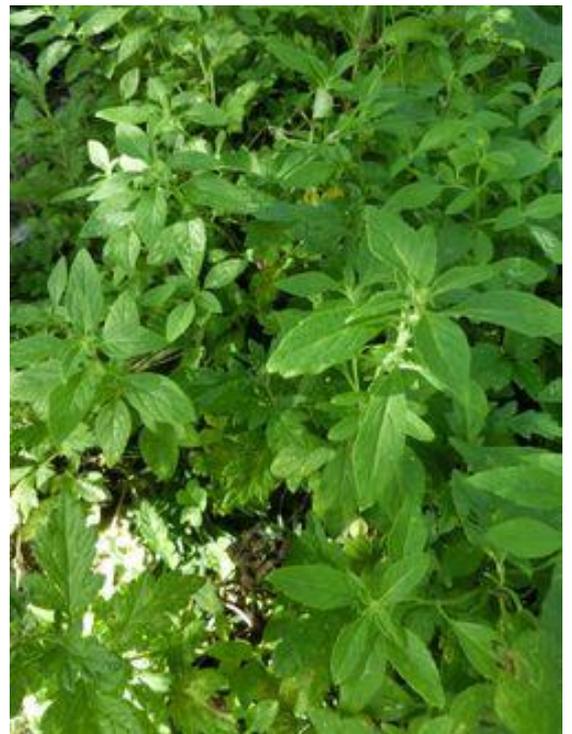
## ミント5種類

2015年06月29日

今回は、ミント5種類。このほかに数種類あるが、別の機会にしよう。

中左 クールミント。我が畑で最大量を誇る。あちこちにはびこっている。ミントははびこる傾向があるが、そのなかでも一番だ。もっばらハーブティー用。

中右 バナナミント。これもはびこるが、季節が暑くなると、激しく広がり、涼しくなると、存在感が希薄になる。もっばらハーブティー用。



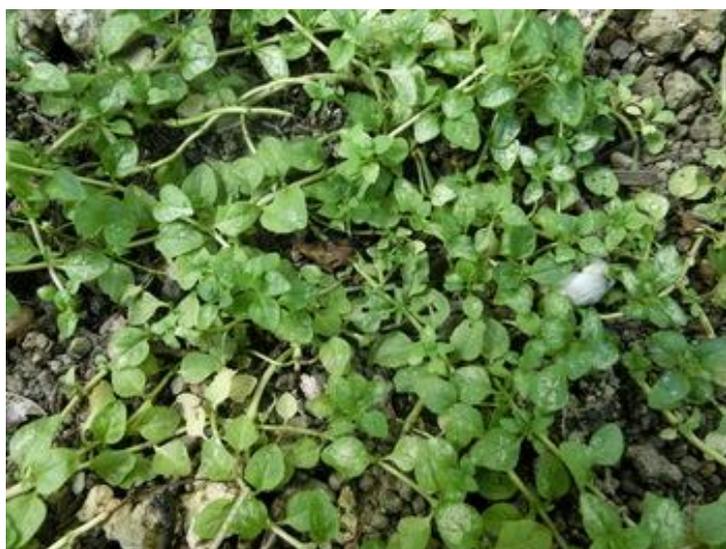
左 アップルミント これもはびこるが、暑くなると、元気がなくなってきて、涼しくなると元気になる。甘い匂いがたまらない。もっばらハーブティー用。



左 マウンテンミント これがミントなのかどうかはわからない。私がつ持っている本にも登場しない。苗店でそんな名前で売っていたから、そう信じている。だが、最近、異なるものがマウンテンミントとして売られている。それも育てている。普通のミントのように優しい感じではなくて、ローズマリーのような感じ。時々、ハーブティーに入れるが、他の活用方法は不明。

右 ペニーロイヤルミント 這うミント。我が家では、もっぱらアリよけで使用。絶大な効果がある。著名なベニシアさんの本から学んだ。ハーブティー使用は避けた方がいいと書いてある本もある。

すごく成長すると思っているうちに、消えかかったりする。育て方にまだ慣れていない。





## ベチパー レモングラス ティートリー

2015年06月24日

このごろ、ハーブ記事がすごく減ってしまった。でも、我が庭畑のハーブたちは、大変元気だ。最近は数えていないが、40種ほど育っているだろう。そこで、並べていくことにする。

左 まずベチパー。かなり以前に近所の花風さんからいただいたものだ。生育力旺盛で、このごろは広がり過ぎを止めるために、大胆な刈り取りをしている。刈り取ったものは、多少乾燥させてから、防虫に使っている。ゴキブリ対策にいいと、ウェブにあった。なぜかシャネル5番の原料だそう

だ。

ベチパー、フーチパー（よもぎ）、サンニン、セージを混ぜて紙袋に入れ、台所の隅、衣料箱、トイレなどに置いて、防虫兼芳香に使っている。市販の防虫剤がとても危険だという情報を知ってから、このやり方で、数年やっている。おかげで、市販防虫剤によるとみられる肌のかぶれなどがなくなった。

右 レモングラス。私流のハーブティー・ミックスで大活躍。3年に一度ぐらいの植え替えが必要なことを、タイレストラン「シャム」ののっこさんから教わった。写真のものも、そろそろ植え替えの時期だ。植え替えないと、根が浮いてしまうのだ。



左 ティートリー。我が畑自慢のものだ。もう10年になるだろうか。沖縄ではめったに見ない。3～4月の純白の花が美しい。剪定を兼ねて、枝葉をとり、煮出して風呂に入れる。これに優る入浴剤は知らない。煮出すだけで、家じゅうが芳香に包まれる。台風風に弱くて、何度も幹が折れたが、生き返ってくる。美しい花なので、近所の人が、挿し木にして広げようと提案されたが、挿し木はまだ成功していない。二本目の苗を購入してきて、今育てている。

## 大量のカニステルの赤ちゃん

2015年06月22日

写真は、カニステルの赤ちゃん。いただいた苗木を植えて数年。今春、一個だけ、初の収穫。  
このごろ、赤ちゃん実が大量についているのを発見。



## アマリリス

2015年06月19日

このアマリリスは、5年ほど前に、東村で買ってきた球根を育てたもの。でかい球根だった。花がいくつも咲く。この花茎から出た花が終わる頃になって、次の花茎が出てきた。

我が庭のあちこちに、旧所有者が植えたアマリリスは、4月ごろ開花する。

アマリリスは、手入れ少しく立派な花を咲かせる。我が集落には、アマリリスが多い。



## ライチの収穫 2015年06月13日

12日、ライチの収穫を始めた。  
今年、なぜだか鳥に食べられない。昨年までは、どちらが先に食べるか争いだった。今年は用心のために、網をかけたが、その効果かどうかは不明。

昨年、同じころ、収穫中に、木から落ちて痛い目にあったので、今年は用心して収穫だ。



左写真は、収穫したものを皿に並べる。一つ試食。なかなかの味だ。知らぬ間に恵美子ニほとんど食べられた。美味しいとのことだ。

葉野菜 カンダバー リュウキュウアシタバ

ミツバ ツルムラ モロヘイヤ ルッコラ

2015年06月09日

梅雨の中休みの時には、セミの声がうるさく響くようになってきた。

夏場になって、毎年困っていたのは、葉野菜が少なくなることだ。そのなかで、やっていることを紹介しよう。

右 カンダバー 最近知名度が高まっている「ぐしちゃんいいな」を、数年前の登場したてのころ植え付けた。何の手入れも不要なものだ。



左 リュウキュウアシタバ ずいぶん前から、畑に植えっぱなしだ。この時期に大きく成長する。必要な分だけ切り取って使う。

右 ミツバ こぼれ種から、どんどん広がる。何人かの方に株分けした。店で買うと高級品扱いだが、我が家では、ごく普通の力強い仲間だ。





左 ツルムラ これまた、力強い。何年も前に植えたのが、庭畑のあちこちで雑草化している。

似たものに、雲南百薬があるが、これも畑のあちこちに出てくる。これには、苗店で名前がいろいろとつけられている。

写真のツルムラは、ベランダの手すりにはわせているもの。



右 モロヘイヤ こぼれ種から広がる。苗を二本購入して植えてみたが、こぼれ種からのものと変わりはない。写真は、こぼれ種から出てきたものを、プランターに移植したもの。



左 ルッコラ これは年中栽培できる印象だ。

他には、青シソ（大葉）やハンダマがある。先日、サラダ菜の苗も植えた。とにかく強い種類ばかりだ。

これだけあれば、夏場でも葉野菜は十分間に合う。

## ゲッキツ ハンギングヘリクニア

2015年06月06日

右 ゲッキツの花 我が庭畑のあちらこちらに自生している。このあたりには多い。清楚な花と匂いがいい。岩のあるあたりにも多い。伸びてきたら、多少整枝してあげている。



下 ハンギングヘリクニア（記事掲載時点では、ストレリチャと思っていたが、その後間違いであることに気づく）は、



ここに住み始めたころ、どなたかにいただいたもの

を、そのまま植えた。手入れ無しのままだったが、知らぬ間にしっかりとしてきて、株も広がり、今年は10余り開花準備状態だ。極楽鳥花といわれるように、鮮烈な色だ。

## バナナの収穫 2015年06月04日

昨年11月に開花・着果した三尺バナナが、7か月たって、ようやく収穫に至った。

ずいぶん立派だ。私のこれまでの栽培歴では最大のものだ。

約9本の房が7段あるから、60本余りだ。

4月に開花着果したのもも現在生育中だ。

今回収穫したものの脇から3本の子どもが大きくなっているが、そのうち一本は、今年から来年初めには開花着果しそうな勢いだ。



畑には、他の4か所にバナナを育てている。

ゴージャ ナーベアラ

シマラッキョウ

2015年05月31日

連日の雨と高温で、夏野菜の生育がいい。



いよいよゴージャとナーベアラの収穫スタート。

毎年、台風でやられるので、今年は、ゴージャ・ナーベアラの棚を低くしてみた。

シマラッキョウを掘り上げた。しばらく寝かせておいて、7月ころ植えようと思っている。



## 夏野菜へ 2015年05月26日

夏の季節に入って、すでに収穫を始めた野菜類を紹介しよう

右 リュウキュウアシタバ



左 カンダバー 「ぐしちゃんいいな」で  
売り出し中の、葉茎が柔らかく食べやすい種だ

右 ナタマメ

これは、昨年ベランダに植え付けたもので、今年の第一号を収穫して食べた。種がまだ残っていたので、他の場にも植えた。





次は、もうしばらくしてから収穫になるものだ。

左 ウリズン豆 昨年の苗が残っていて、そこから新しい芽が出てきてぐんぐん伸びている。

右 モロヘイヤ 昨年のこぼれ種から芽が出てきている。新しい購入苗2本も植えた。



左 アスパラガス 数年前からの苗が、再び生育速度を速めている。

下左 ゴボウ 3、4月に播いた種から大きな葉が出てきている。

下右 サトイモ 昨年の残りの芋を3月に植えた。大きな葉を出している。

いずれも、梅雨に入っの雨で、順調な生育をスタートさせた。





ガクアジサイ サガリバナ オクラレルカの実? 黄色のユリ 2015年05月19日

なかなか梅雨入りせず、晴天続きだ。屋上の太陽光発電が、最高発電量記録を更新した。畑仕事も暑さを考えながら進めている。

上左 ガクアジサイが満開に近づいている。

上右 サガリバナがもう咲いた。開花に気付くのは、いつものことながら、朝、地面に落ちたもの、だ。落ちても美しいのが特徴だろう。

下左 オクラレルカの実だろう。結構大きい。

下右 黄色のユリ。4月末に植え付けたものがもう開花した。



オレガノの花 ボッグセージの花

ランタナの花 月桃の花 池光景

2015年05月13日

我が庭畑への台風の影響は微小。もう少し雨量が多ければよかったのと思う程。

夏っぽくなってきたが、梅雨入りがなかなかで、気になる。



夏の花が咲き始めた。これからは、紹介が多くなりそうだ。



上 オレガノの花

左 ボッグセージの花

右 ランタナの花





左 月桃の花

右 池光景 いろんな種類の蛙が卵を産みに来る。白い泡のようなものもその一つ。ビオトープらしくなってきた。いろいろなおたまじゃくしがいるが、私としては、メインはメダカのつもり。



左 元芝生後の土づくり作業、第一段階終了。このあと、土返しをしながら、堆肥の熟成過程に入る。植生計画をたてて6月ごろから植え始めるつもりだが、過渡的に、モロヘイヤ・ゴーヤ・オクラなどの野菜類を植えておくことも考えている。

つる日日草 コデマリ

2015年05月07日

下右 昨年植えたつる日日草が、初めて開花した。地味な花だ。

下左 コデマリの花。栄養分が無きに等しい所で、もう10年になるが、頑張っって細々と生きている。少しずつ花数が増えている印象だ。



花——ミフクラギ リュウキュウハギ スパテ  
フィルム バンシルー デイゴなど

2015年05月04日

5月となると、夏の雰囲気が入り込んでくる。と思うとすぐに梅雨になる。

我が庭畑も、徐々に夏の雰囲気が出てきた。ここしばらく我が庭畑の初夏シリーズをお届けしよう。



上 しばらく前に、蕾を紹介したプルメリアが開花し始めた。といっても一房だけだ。本格的には、5月後半以降になりそうだ。近所の方からいただいた苗を植えて数年がたち、今や4メートルの高さになった。玄関脇を飾る主木の一つになりつつある。

追記——これを長い間、プルメリアだと思い込んできたが、その後、ミフクラギであることが判明

左 リュウキュウハギが今時咲いている。秋に咲くはずだと思いが、よく分からない。昨年植えた苗だ。

右 スパテフィルムが開花を始めた。7～8年たつが、手入れ無しでも、毎年開花してくれる。





上左 グアバ（バンシルー）の花。この木は、7～8年になる。高さ3メートル足らずに抑えている。当然果実を食べるが、去年は台風にやられた。今年は、と期待している。



上右 トマトが樹上完熟だ。あと一週間で収穫が終わりそうだ。



中左 コリアンダー（パクチー）の、とても小さな花が一杯咲いている。



中右 ディゴの花。我が庭畑ではなく、4月27日の散策中に佐敷仲伊保の海岸近くで出会う。そろそろ見かける時期だ。

## 初夏の我が庭畑のいろいろ

2015年05月01日

いよいよ5月。次回からは初夏シリーズをお届けする。

今回は、続けてきたシリーズの最終回となる。

右 コルシカミント 植え付けてまだ日が浅いが、どんどん生育している。地面を覆う面積でいうと、2～3ヶ月で、数倍になった感じ。まったく初対面なので、どう使うかは、これから調べる。



左 トウワタが、いっぱい綿になり、風で種を飛ばしている。庭畑に元気よく広がっている。

右 三尺バナナ 新しい実がでてきた。昨11月に出てきたものが、少しだけ黄色味を帯びてきたので、まもなく樹上完熟になりそう。半年かかった。



右 フリージアと日日草 双方とも、何の手入れもしないでいるが、毎年この時期に開花する。



ティートリー メドウセージ ユリ

ガクアジサイ 2015年04月27日

今回は我が庭畑の花の紹介。

右 ティートリー ようやく満開状態。数日続きそうだ。



中左 メドウセージ 開花したばかり。これからしばし続きそうだ。



ユリ 一株しか植えていないので、先日、3株追加した。

右 ガクアジサイが、開花準備段階に入っている。2年前、本部のよへなアジサイ園で購入したものだ





## コーヒーの木の花

2015年04月23日

コーヒーの花が満開だ。

我が畑の3本のコーヒーの木が着実に成長している。数年前から開花着果するようになり、数杯以上はコーヒーになってきた。ここ2年は、台風で、数杯にとどまった。しかし、今年は数十杯になりそうな感じだ。

それにしても、清楚な感じの白で美しい。

早速、たくさんの虫が集まり、蜜を吸って、授粉してくれている。





ティー 트리 トウワタ オクラレルカ セイロンベンケイ 2015年04月11日

暑くなったと思ったら、温度が下がったりと変動が激しいが、庭の草花も変化が激しい。

上左 昨年の台風で、今年の開花をあきらめていたティー 트리。このところの暑さで、急に蕾をたくさん着けた。そして、9日に数個開花した。次に暖くなる時に、一斉に開花するだろう。これは見事にきれいな純白の花だ。

上右 トウワタが綿毛を一杯出している。唐の綿だから、トウワタというそう。綿毛のなかに小さい種子があり、風に揺られて、あちこちに飛び散る。だから、我が家の庭畑で一杯活躍している。

下左 一週間前から開花したオクラレルカが、いよいよ満開の見ごろになってきた。

下右 セイロンベンケイ。いつもは、もっと早く咲くが、今年は遅い。面白い花だ。





とけいそう オクラレルカ ア  
マリリス 花アロエ ねこのひ  
げ ソテツの新葉

2015年04月06日

暖かさを通りこして、暑さの日々。我が庭畑  
の花々も衝撃的に開花

上 まず、とけいそう＝パッションフルーツの開花。10日前に開花が始まったが、今は毎日10個近く。3～4時ごろ人工授粉する。



右 4日に、オクラレルカ初開花。これから10日間ほどが見ごろだろう。株分けして、3カ所に植えている。



左 アマリリス開花。数か所で一斉開花しそうだ。遅い種は5月に開花するだろう。

右 花アロエ 一か月ぐらい開花が続きそうだ。



左 ねこのひげ=クミスクチン これから一か月以上、大量開花が続きそうだ。

右 ソテツの新葉。花より、新葉の方が美しい印象。三ヶ所に10数株植えているので、これから一か月ぐらい続く。





## ビワの実 ベランダで戯れる孫たち 満開ブーゲンビリア マンゴの赤ちゃん

2015年04月03日

急に暖かくなって、夏がやってきた。フィリピンの東に台風があって、熱い風が北上しているようだ。庭畑もウリズンの季節だ。

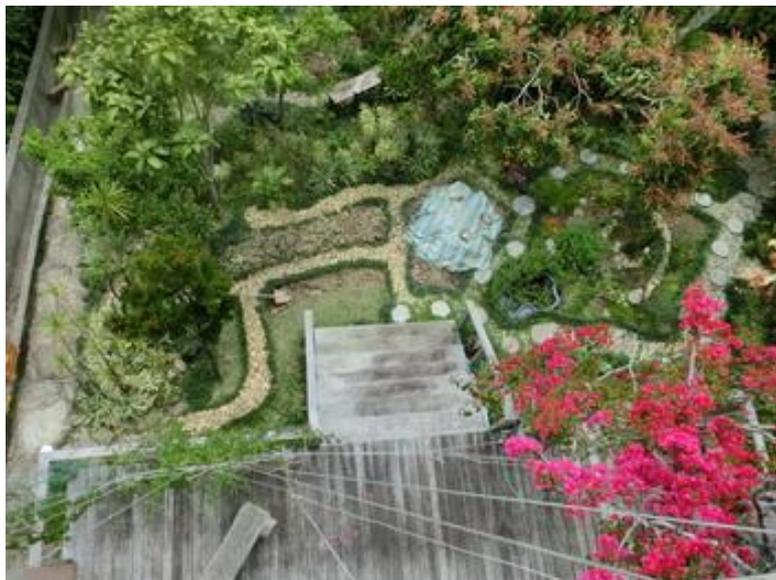
今年は、昨年とは対照的にビワ収穫は少ないが、袋かけに成功して、美味しいのができてきた。

孫たちが、ベランダに干してあった座布団で戯れる。ベランダの植物たちにもにぎやかな季節を迎える。

満開ブーゲンビリア。地上から3階まで見事に咲いている。今が盛り。この後一か月ぐらいして散り、地面やベランダが散った花びらで一杯になる。そして剪定。次の満開は7、8月ごろだろう。

金煌マンゴは、昨秋の剪定がよかったのか、大量の開花。そして、2、3日前から結実して、いっぱい赤ちゃんが目立つようになってきた。昨年、一昨年と、収穫前に台風にやられたので、今年とは祈っている。収穫は6月末から7月初め。





## 庭通路改造中 ルッコラの花

2015年03月28日

2月から始めた芝だった庭の大改造を進行させている。芝が生育しないほど、ひどい土だったので、深く掘って、ひどい土を取りだし、まずは堆肥づくりを進めている。8割がた終わった。

上左写真は、3階ベランダから見たもの。3区画見えるが、右上のビニールシートで覆ってあるのは、堆肥化進行中。左上は、枝葉と土を入れて、これから堆肥化していく区域。左下は穴掘り中。

掘った大きな石混ざりの土は、建物東通路の整備に使う。昨年、レンガで通路整備したが、評判がよくないので、掘りだした岩と土を使って、改良した。以前よりましになったと思う。あくまでも素人手作りでやるのが私流。

右 これはルッコラの花。今年はダブって種を買ったので、余ってたくさん開花に至らさせてしまった。なにか祈りを感じさせる。





## トウワタ ビワの実 ソテツの新葉 ブルーベリーの花

2015年03月24日

暖かくなって、庭畑に春が満ち始めた。アゲハチョウも舞い始めたが、まだうまく取れたショットはない。植物をいくつか紹介しよう。

左上 まずトウワタの花。まだカバマダラがこないなので、きれいに美しい。

右上 ビワの実に網をかけた。色づき始めたので、まもなく収穫だ。

下左 ソテツの新葉が出始めた

下右 ブルーベリーの花は、初紹介だ。23日、パッションフルーツの開花一号。毎日たくさん咲くようになったら、写真つきで報告しよう。

アマリリスの蕾も伸びてきた。オクラレカも、開花準備段階へ。月末から4月初めにかけて咲き始めるだろう。例年だと、咲いているはずのティートリーは、昨年の台風の影響か、咲いていない。



オレガノ コリアンダー (パクチー)  
ー) ヤロー メキシカンスイート  
ハーブ 2015年03月18日



暖かくなって、ハーブたちも元気だ。今回は、  
どんなことがあっても元気な4種

右上 まずオレガノ。台風はじめどんなことがあっても、元気。現在二か所。以前にも繁殖させすぎて、大胆にカットしてオレガノペーストを作った。昨年は、粉状にして、胡椒のようにして、今も使っている。今度はどうしようかな。



左 コリアンダー (パクチー)。今年は、買ってきた苗二本が生育しただけでなく、播いた種もしっかり成長している。スープ・シチューなどに入れて、楽しんでいる。



中右 ヤロー。風邪にいいという話だが、まだ風邪向けに使ったことはない。昨年植えたものが、子どもを作って、広がっている。

右下 メキシカンスイートハーブ。相変わらず超元気。今や、処分しながらハーブティーに活用中。甘味料として最適。ステビアも育てているが、それよりもずっと大量生産可能。それに乾燥に強いから、地被植物としても使える。





### 三つ葉 にがな ゴボウ 野菜いろ

いろ

2015年03月12日

我が畑の野菜は、化学肥料を使っていないから、大きくはないが、味は濃密だ。買って来た野菜の多くは化学肥料だけでなく農薬も使っているため、虫の跡もない。でも、数日でしおれたり傷んだりする。我が畑のものは、みずばらしいが、長持ちする。

今は、野菜の絶好の時期。気温が低いので、虫も少ない。いくつか紹介しよう。

上 三つ葉。こぼれ種から、あるいは昨季のものから、ひとりでに大きくなり、この時期から活用できる。お店で買うと高いのが不思議だ。

右 にがな。石垣の隙間に植え付けたものが、どんどん大きくなる。何の手入れも不要。



下左 ゴボウは、小さな葉をつけている段階。何か月かかけて大きくなる。数年前にも植えたが、硬い土のためか「いじけて」収穫どころの話ではなかった。だんだん土がよくなってきたので、今回は期待している。



下右 定番の混植。小松菜、ほうれんそう、春菊、ルッコラ





ハーブ フェンネル フローレンスフェンネル ディル

2015年03月07日

久々にハーブを紹介しよう。昨年の台風で大打撃を受けながらも、復活してきている。10月の台風後に苗を植えたものは、当然のことながらしっかり育ってきている。

上左写真は、フローレンスフェンネル。フェンネルと似ているが、根元が太る。

上右写真は、普通のフェンネル。中心軸を一度切って活用し、今は脇芽が大きくなっている。

下左写真は、ディル。フェンネルとどう違うか、といわれると、申し訳ないが、はっきりとは説明できない。

下右写真は、ディルの蕾。開花直前





開花 マンゴー メイフラワー ナデ

シコ

2015年03月01日

ここ数日暖かいためか、我が庭畑でも花がいっぱい咲いている。

左 マンゴーも、大量開花だ。収穫直前に台風にやられた昨年、一昨年のようなことがないことを祈る。

右 メイフラワーは、2月中旬から咲いているが、今が満開。

下 ナデシコも咲き乱れ始めた。ほかには、コスモス、菊、ベコニアなども咲いている。





## 月桃の代わりに、ジャボチカバとキンカンの植え替え ベンチ第二弾

2015年02月23日

上左 ベンチ第二弾を作る。今回も剪定したマンゴーの幹を使う。板は、10年前の我が家建築の際の残り物。

植えたわけではないが、我が畑で異常に繁殖しているのが月桃。どんどん切るがどんどん殖える。おまけに種が飛んで畑のあちこちに出現。今回、中心になっているものを根こそぎ除去。一週間作業だった。残った土は、上等になっていた。

考えた挙句、その土を畑のあちこちにばらまく。そして、できた穴に、酸性を好む樹木を植えることにした。鹿沼土・ピートモス・堆肥を混合したものを入れる。そこに、ジャボチカバ（下左）とキンカン（下右）を植える。二つとも、数年前に、鹿沼土を入れて植えたが、元気がないというか、枯死寸前状態。酸性

度が弱かったのだろうと推理。今回は、かなりの量の鹿沼土とピートモスを入れる。

うまく成長してくれることを期待する。





## 木の枝にランをは わせる

2015年02月16日

沖縄国際洋蘭博覧会でランの苗を買ってきて、我が庭畑で育てる。

今年はサクラランを買ってきた。全く知らなかったもので、お店の人の話だと、ランの仲間ではないとのことだ。



帰宅後、早速、ライチの木に枝にすみかを作ってあげた。地面から20センチぐらいの高さに、水苔で巻いて紐で縛る。ツルは上の方に伝わせる。

2つほど蕾ができていますので、開花を期待する。うまく行くことを願う。

上左 サクララン

一昨年、フウランとナゴランを、枇杷の木に同じようにした。何とか生育している。以前に失敗したことも何回かある。

上右 フウラン

下左 ナゴラン

下右 次のものは、近隣の知人からいただいたものだ。数か所の木にはわせたが、成功したのは、サガリバナにはわせた写真のものだけだ。でも、3年余りになるが、根が幹を取り巻いており、しっかりしてきている。



## 野菜の混植

2015年02月09日

寒さのピークだ。でも、畑の野菜は今が生育のピークとばかりに元気がいい。だから、収穫も多い。  
小松菜、春菊、ルッコラ、レタス、チマサンチェ、大根、セロリ、パセリ・・・

これらの野菜の育て方は、私流に不耕起・混植が基本だ。

混植というのは、いろいろな野菜をごちゃまぜに育てることだ。種だったら、幾種類かの種を土と混ぜて、地面に振りかけ、あとから少し土を振りかけるという、おおざっぱなものだ。

だから、どの順番で発芽し生育するかは、種任せだ。気候と土の性質にも影響される。こうやると、どれがこの土に合っているかもよく分かる。中には、去年の種で「年老いた」ものも混ぜる。やはり発芽率は低いけど、それでも出てくる。なかには、種をまいたわけではないが、種こぼれから、他の野菜の間から出現するものもある。シマナ（カラシナ）が代表だ。

では、写真を並べていこう。



中左  
チマサン  
チェ パ  
パイヤ  
トマト  
ルッコラ  
小松菜



中右  
大根 ル  
ッコラ  
春菊



下左 コマツナ サラダ菜、レタス類2種

下右 チャービル ツルムラサキ 20日ネギ





### 出番待ちの果樹 びわ マンゴー カニステル バナナ 2015年02月06日

暖冬予報が外れ、寒冬ですが、今冬でも一番寒い日です。昨夜の体育館往復の自動車の外気温測定では、12度でした。そんな寒い中ですが、確実に春が近づいています。出番待ちの果樹がそれを伝えてくれます。

上左 びわ 開花のなかで早かったものは、小さいながらも実をつけています。まだ1～2センチですが。遅いものは開花・開花準備中です。

昨年は豊作でしたので、酒に浸けたものを今味わっています。薬用酒です。葉っぱも、薬用酒に入れていきます。

上右 マンゴーがいよいよ開花の時期です。これから2週間ぐらい咲き続けるでしょう。

下左 カニステル 苗を植えて4～5年。高さが2メートルを超し、昨年末初めて結実しました。一個ですが。なかなか結実にいたらないと、本には書いてありました。

下右 バナナ 11月に開花したものが、立派になってきました。まもなく収穫できるでしょう。





## 芝のあとを改造する庭の堆肥作り

ネズミ出現 2015年02月03日

前回記事で、庭の改造のことを書いた。旧芝生に通路をつくるのは60%ほど完了。次は石を並べる作業だ。石は、庭を掘れば、写真のように出てくる。

庭を掘って、堆肥作りをして、土壌改良する。半年～1年がかりだ。土を掘るといよりは土の顔をした岩石だ。土壌になっているの

は、置いた芝の厚みの3～4センチだけ。芝の根が下方には全く伸びていない。これでは芝が育つわけがない。

20センチ余り掘りだす。大きい石は、20～30センチの大きさ。小さい石は数センチほど。すべて活用するつもり。掘り出し運ぶ作業は手間がかかる。掘ったところに枝葉を入れる。

一作業終わると、3階から具合を見る。一昨日、見ていると、突然ネズミが現れる。真昼間なのに。結構大きいので、マングースかと思うほど



だ。ネズミの隣のスコップと比べれば、大きさがわかるだろう。

堆肥用の枝葉のなかにもぐる。餌探しか、ねぐら探しか。

気分が悪くなるものをお見せしたので、レースラベンダーの花の写真で、気分を変えてください。



## ベンチづくり 失敗芝生の後の模様替え

2015年01月28日

このごろの庭畑作業の一つは、ベンチづくり。

畑の木々が大きく伸びて、日蔭になってしまったところにベンチを作った。昨秋、剪定したマンゴーの太い枝二本を柱にし、そのうえに板を載せただけのシンプルさ。板は、しばし前に国頭で購入してきたリュウキュウマツだ。一か月くらいで安定してきたら、木工ボンドでくっつけるつもりだ。

ここから見る景観はいい。畑の木々の枝の間から、海が見える。ベンチの前には、月下美人、ハゴロモジヤスミン、ヒチヘンゲなどを植えた。夏の暑い時にも良い涼みベンチになることを願っている。

もう一カ所ベンチを作る予定でいる。

もう一つの作業は大がかりだ。庭は、もともとは芝生だった。しかし、ここに住み始めたころ、基礎作業もしないで、買ってきた芝を置いただけに近い形でセットした。それでも、数年間は、芝生らしかった。その後、草取り作業で格闘した。しかし、徐々に芝が弱り、雑草が緑にしている印象さえ受けるようになった。



2年前、半分をらせんハーブ園にした。そして、これから1年ぐらいかけて、残りを低木や花を植える庭へと変えていくつもりだ。そこで、まず始めたのは、縁取り役のタマリユウを植えて、通路をつくることだ。通路で仕切ることができる3つの区画にいろいろな植物を移植する予定だ。少し掘り返して分かったが、この土は建設業者が持ち込んだ山土というか岩石で、栄養分ゼロだ。植えた芝が、根を全く張っていなかったことも合点がいく。

20センチ以上掘り返して、有機物を入れ込んで堆肥化してから、植え付け作業を行うつも

りだ。だから植え付けは、今年の後半になろう。それらが、根付くのは年を越しそうだ。だから、完成までに一年以上になるのだ。そのころには、畑の方もコンポストが3巡目を終えて、土が畑土らしくなつてこよう。

こうして、2017年からは、少しはまは庭畑になることを願っている。





## 大根など野菜収穫が盛んになる

2015年01月20日

私は寒さに困っているが、野菜にとっては絶好の季節なのだろう。どんどん生育している。

小松菜、シマナ、シュンギク、セロリ、ルッコラ、パセリ、チマサンチュ・・・、なかでも、私を喜ばせたのは大根

数年前にもためしてみたが、うまくいかなかった。原因は、土が浅いからだった。この地は、表面近くまでクチャ層がある。しかも急傾斜なので、表土がたまりにくい。10年前に畑づくりをはじめたころは、表土は数センチだった。

それから、畑に順にコンポストを置いて堆肥作りをやってきた。畑を2巡し終わり今3巡目だ。最初のころは、堆肥作りも下手だったが、だんだんコツもわかってきた。敷地内ででてくる枝葉はすべて、コンポストに入れるか、穴を掘って埋め込んでいる。最初のころは、クチャ相手で、掘るのが重労働だったが、最近はそうでもなくなってきた。

そして、ついに表土が20センチを越えてきた。深いところは30センチ以上だ。ということで、大根などの根菜も育てられるようになってきたのだろう。

そろそろ、畑庭作りの新しいステージに入る。美観も考えて、一部は植え替えなどもしている。

## 樹木の剪定ほぼ完了

2015年01月16日

寒さがピークになってきましたが、もうすぐ新しい季節の芽も感じられそうです。といっても、野菜類には、このくらいが適切な時期だと叫んでいるのも多そうです。

まず、季節変わりのシンボル作業というべき木々の剪定作業です。10月ごろから始めて、1月になってようやく完了です。10月台風で傷んだ枝を整理する作業もついでにやっています。

マンゴー、クロキ、サガリバナ、オオバナアリアケカズラ、アカバナ、ジャスミンマツリカ、ガジマル、バンシルー、アセローラ、コーヒーの木、ブーゲンビリア・・・。樹木ではありませんが、パッションフルーツやシッサスも大胆にカットしました。切った枝葉は大量ですが、すべて堆肥作りに使いました。

庭畑が、明るくなった感じです。繁茂した木々の日蔭になって、丈の低い植物が悲鳴を上げていましたが、少しは元気になるかな、と思います。

写真は、剪定後のブーゲンビリアです。12月前半に満開でしたが、下旬にはほとんどの花が散りました。次の開花は3月で、4月には満開になるでしょう。年に3回ぐらい開花します。満開になったら、また剪定です。結構手間ひまかかります。大胆な剪定をすると、開花がよくなるので、やらないわけにはいきません。

シッサスも過剰に繁殖していますので、大胆過ぎるカットをしました。全体の8割ほどを切ってしまいました。でも、すぐに広がってくるでしょう。



## 堆肥つくり パッションフルーツの枝葉き

### り 里芋収穫

2014年12月29日

このところの畑庭仕事は、畑の雰囲気はかなり変えるものだ。

まず、堆肥つくり。マンゴーの大幅剪定で出た枝葉と台風が飛ばした枝葉とが大量にたまって、畑を雑然とさせていた。それを、数日前の自然農の話にヒントを得て、堆肥作りをした。これまではコンポストに頼っていたが、それでは間に合わない。そこで、畑の隅を堆肥製造場所にして、古板で囲



いを作り、枝葉と土を交互に積み重ねた。

もう一カ所にも作る。半年後には、立派な堆肥ができる予定だ。

これらの枝葉には、最近大幅カットした二本のパッションフルーツの枝葉も含まれている。あまりにも広がりすぎて、畑のかなりを覆い、その下にある作物の生育をストップさせていた。11月に収穫を終えたものだ。左写真



それでも、まだ一本が、20個余りの実をぶら下げている。まもなく収穫は完了だ。

次の果物の収穫は、枇杷だろうか。カニステルが一個だけだが、初収穫できそうだ。



こんな風にして畑を整理している最中に、里芋を掘り起こしたら、結構な収穫があった。これまでは、葉は伸びても、芋はたいしたことがなかったので、期待せずに掘り起こした。2年ほど前にコンポストで堆肥を作った場所だったのが良かったのだろうか。右写真

こんな風に、畑の変化が進行中だ。



ベコニア ナadeshiko ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト ペンタス

2014年12月27日

今回は、我が庭に開花中のものをいくつか紹介しよう。

左上 ベコニア

右上 ナadeshiko

左下 ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト

右下 ペンタス



## 自然農法の話

2014年12月20日

19日午後、稲福信吉さんの畑で、自然農法についての「講演会」というか、「お話し会」があった。講師は、南風原町神里のモリンガファームの赤嶺彰弘さん。

稲福さんの同級生だそうで、赤嶺さんの指導をもとに最近自然農法を始めた稲福さんの畑の実例を紹介しながらの話なので、分かりやすい。

私自身は、浅野誠流自然農法の全くの我流だが、長年の経験と知識をもとにした赤嶺さんの話は格段の説得力がある。

学んだことのなかのいくつかを並べよう。

1. 腐敗ではなく発酵を、畑の中でいかにすすめるか。
2. 化学肥料だけでなく、鶏糞・牛糞・豚糞などは、地中の腐敗をすすめ、虫を発生させ、虫を好む鳥を呼び込む。ミミズも、糞は有効だが、本体は、プラスとはいえない。



畑にキノコが生えてくるのは、発酵の進行を示す良い信号。

3. 発酵がすすむと、地面がふわふわになってくる。木片や木の葉などは、発酵を進める。
4. 海藻も、塩分調整に気をつければ、プラス効果をもたらす。
5. 酢などの発酵食品は、畑にプラスだ。アリなどもそれで逃げていく。

私がしていることには、これらに沿った有効なことが多いが、なかには不要なこともある。

自家製堆肥づくりに、以前にも増して本格的に精を出そうと思う。そして、畑全体が発酵の

循環になるようにしたい。幸いに、我が畑は木や葉に恵まれている。これまでも、畑庭などの敷地内にたまるものは、100%畑の中に鋤きこんでいるが、発酵が一層進むように工夫していきたい。

我が畑の大きな問題というと、周りが森だし、畑のなかにも果樹を中心にした樹木が増えているので、日光の取り入れ方だ。果樹園の方向が強まっているが、部分的には、野菜・ハーブ薬草などが育ちやすい場も確保しようと思う。



庭の花 とうわた つわぶき 千年

木 つばき

2014年12月19日

この季節、いろいろな花が咲く。大量に咲き、遠く奥武島からも見えたブーゲンビリアの季節は終わった。次の開花は、2～3月だろう。

代わって、小さくて少ないが印象的な花が咲く。今回は4つ紹介する。

まず、とうわた。カバマダラの食草だが、寒くて、カバマダラは現れていない。

中左 つわぶき。 この季節特有だ。他府県のものより、南国らしく大型だ。



中右 千年木。地味そうで気づきにくいですが、拡大すれば、結構美しい。小さい花を拡大して撮影



下 つばき。 最近、すでに蕾をつけていた苗木を植えた。大きな花で美しい。いろいろな花が咲いているので、他の「硬い」記事を飾る役目もしてくれる。





## タイム チャービル カモミール

2014年12月13日

今回はハーブについて書こう。10月台風で荒らされたらせん型ハーブ園も、そろそろ整い始めた。荒れたところに植えた苗や種が育ち始めたからだ。

まずタイム。上写真

11月に近くの苗店で見つけた苗。高さがすでに10センチ余りになっている立派なものを2本植えた。こんな立派なものを販売しているのに、初めて出会った。タイムは、さんざん苦労してきたので、ありがたかった。これはコモンタイムだ。根付いたようで、色づきもよくなっている。

次は、チャービル。右写真

これは、10月の台風前に種をまいたものだ。しっかりと大きくなり、繁茂し始めたので、そろそろ間引きを兼ねた収穫が始まる。とてもいい香りがする。別名セルフイーユ。パセリ、イタリアンパセリとならんで、毎年育てているものだ。いつもは購入してきた苗から育てているが、今年は種から始めた。意外に知られていないが、料理にすごくいい。



次はカモミール。下写真。

10数年前、愛知の家で種から大量に育てたことがあるが、ここでは失敗を重ねている。今年も種から始めたが、うまく行きそうな気配だ。10年以上前の体調不良の時に、ずいぶん助けられた。





### 三尺バナナが 実をつける

2014年12月09日

昨年、三尺バナナの3本植えたうちの一本が、実をつけた。もう一本も間近だ。

「三尺」とはいうものの、2メートルを超す高さだ。6～7段の実がついている。



これから2～3ヶ月待つてから収穫の予定だ。

すでに脇から子どもの三尺バナナが顔を出しているので、毎年数回収穫できるほどにまでなるといいな、と思う。

普通のバナナは、10月の台風で一本倒れた。収穫間近だったのに残念だ。台風を考えると、背が低い三尺バナナの方がよさそうだ。

## パッションフルーツの大収穫

2014年12月02日

このところパッションフルーツを一日数個ずつ収穫している。我が畑には、黄色と紫色に二種類があるが、黄色のものだ。結構大きくて、通常の店で売っているものより一回りも二回りも大きくて、来客は驚く。

しばらく寝かしておいて、表面に皺がでてきてから食べる。紫色の方が美味しい印象だが、黄色もいける。全部で、100個近い収穫が、年明けまで続きそうだ。このところの来客へのお土産がパッションフルーツ

になっている。

写真右端のドラゴンフルーツは、今年最後の収穫。台風のためか、例年10月末で終わるのが、今年は11月末まで収穫が伸びた。





### サトウキビとススキ ブーゲンビリア

2014年11月27日

50年ほど前、沖縄を訪問した有力政治家が、大量のサトウキビが穂を出しているのを見て、「沖縄の農民は、畑がススキで埋め尽くされているほど仕事をしていない」と発言をして物議をかもしたことがある。いまでも、両者の区別がつかない人は多い。先日も、このサトウキビの穂の写真を学生に見せて「何でしょう」と尋ねたら「ススキ」と答えた。

前置きはこれぐらいにしよう。両者とも、出たての穂は美しい。両者とも、隣の敷地から我が家の敷地に顔を出したものだ。念のため、書いておこう。左がサトウキビで、右がススキだ。

我が家のブーゲンブリアが満開状態だ。10月中旬の台風もあってか、ことのほか美しい。地上から3階までを花が覆い尽くしている。高さは約11メートルだ。



国道331号線を新原に向かうために、中山から入る道路を200メートルぐらい行って左手によく見える。奥武島からも見える。12月中旬ごろまで見られる。12月に入ると、地面・ベランダが落ちた「花びら」で赤に染まるだろう。それも美しい。





## 南城市オープンガーデン、すべて 見学し終える 大城正明さん宅訪 問で

2014年11月25日

24日午前、最後の訪問先の大城正明さん宅へ。近くなので、海岸散歩の途中に立ち寄る。顔見知りの方が多いところであるが、大城さん宅は初訪問。

すごくきれいに庭をまとめられている。海岸線や水平線などと庭とが響きあっている。花々が美しく咲き誇る。おりしもリュウゼツランが開花中だ。バリ島がお好きなようで、その雰囲気を取り入れられている。

前回までに訪問したことがある19に加えて、今回初訪問の3で、合計22を訪問し終えた。次回からは、初公開のところと、とくに好きなところ、縁があるところへの訪問になるだろう。

我が庭をオープンするののかというと、オープンガーデンを見れば見るほど、無理だなと感じる。まず立派ではない。ワイルド過ぎるのだ。そして、駐車場確保が無理。それに実施期間中、在宅するのは不可能だ。

今のように、時々訪問者にみてもらうくらいだろう。



## 南城市オープンガーデン 大城利広さん、川平

賀清さん宅

2014年11月25日

24日第10回南城市憩いのオープンガーデンに出かける。まずは、知念岬のがんじゅう駅に行き、パスポートを購入。ちょうど開かれていた「イザイホー写真展」を観る。16日記事で紹介した金城幸彦さんが、1966年に撮影したものだ。数日前、イザイホーについても書いている岡本太郎「沖縄文化論」を読んだばかりでタイミングがよかった。イザイホーの世界の一端に触れた感じがした。

その後、今日までの半島芸術祭 in 南城で、ほぼ毎年訪問している小倉美佐さんの『のんとみ工房』を訪問。超美しい作品を見、ご夫妻と歓談。

風景観察をもとに作成されるが、風景は2～3時間という長時間にわたって、じっと観察されるという。カメラではダメだそうだ。すると、周りの人が、何かと間違えて心配してしまうそうだ。そこで、ある方は、釣竿を持って観察されるという冗談みたいな苦勞話などを楽しく聞く。



大作を10点ほど、毎年新しく展示しておられる。今年は小品もたくさんだ。作品に吸い込まれる、というか共振するような感じに陥る。一級芸術品なので、参観をお勧めしたいところだ。

オープンガーデンのガイドブックを見ると、22カ所中19カ所は前回までに訪問した。まずは未訪問宅に行こうということで、佐敷の大城利広さん宅へ行く。先週、人知れない山道を教えてもらったが、その道を再び通ると、クルクマ近くの『のんとみ工房』

から10分足らずで佐敷の会場に到着。

ここは、平地にたくさんのハーブ・野菜・草花を植えておられる。我が庭畑に共通するものが多く、参考になる。隣に老人施設が併設されているようで、その利用者たちも畑庭作業に参加しておられるようだ。

『のんとみ工房』の作品で「ねむの花」という、ねむの木の花で赤いものを描いたものがあつた。いつも見るのは白いものばかりだったが、この畑で赤い花を見つけた。偶然のことだ。美しい。

昼食後、川平賀清さん宅を訪問。和風庭園で、巨岩とその間を流れる水、そして松やソテツなどが目立つ。よく整備された立派な御庭だ。溜息がでるほど感心。

残された訪問先は、一軒になった。近く訪問しようと思う。



アップルミント バジル ヤロー カラミ

ント ルッコラ 2014年11月20日

11月5日記事に続いて、台風をものともしないハーブたちについて書こう。7月10月台風来襲以前も以後の現在も元気なものたちだ。

まず上左写真のアップルミント。手入れなしに伸びたい放題だ。今春まではクールミントがそうだったが、果樹が伸びて日陰が増え、草勢が衰えたとの対照的だ。おそらく、アップ



ルミントは半日陰を好むのだろう。今は、あちこちに出てくるものを、処分しながら収穫する感じだ。甘い香りがいい。

中右写真のバジルは、ベランダの鉢植えのもの。露地にも植えてあるが、ともに元気だ。花もいい。近づくと強い香りが漂ってくる。



左写真のヤローは昨年植えたも

ので、しばらく見かけなかったが、夏草を整理すると、顔を出した。しかも、子どもも何人が連れてくる。

風邪に効くというが、ここ数年、風邪をひいていないので、試しようがない。





左の カラミントは、派手に繁殖しないが元気だ。花も咲かせている。



右のルッコラだけは、台風前からというわけではなく、9～

10月に種をまいたものだ。ぐんぐん伸びて、10月後半から間引きしたものを食べていたが、もう一人前になったものをほぼ毎日食べられるようになった。春まで、我が家の重要な食材になるだろう。サラダの一品として、ちょっぴりピリッとしたところがいい。



## コーヒーの豆収穫 ニンニクカズラ開花

2014年11月14日

我が畑では、コーヒーの豆の収穫中。といっても数十個程度だが。それでも、10数杯のコーヒーを楽しめそうだ。年々少しずつ増えている。

このあと、皮などを取り、市販のコーヒーでいう生豆状態にして、自家焙煎する。我が家だけで、「栽培—収穫—生豆—焙煎—

淹れる—飲む」のすべてができるというのは最高だ。

今、あちこちでニンニクカズラが咲き誇っている。我が庭にも、3年ほど前に植えた苗が大きくなり、開花を楽しめるようになっている。





# 11月に咲くサガリバナ ＝サワフジの花の14時

間 2014年11月10日



新聞に10月開花で珍しいということで写真つきで掲載されていたが、我が庭では、11月も咲いている。今、4つぐらい蕾の房があるので、最後のものの開花は、来週になるだろう。

蕾が開き始めてから落花までの14時間の写真をとったので、紹介しよう。



上右 午後5時30分夕暮れ時 蕾が膨らみ、はじめはじめた。

中左 午後6時30分 暗くなるにつれて、開花が進む。フラッシュ撮影

中右 午後9時30分 満開状態 1枚目写真も同じ フラッシュ撮影



下左 翌朝、午前7時30分 夜が明けて明るくなったが、まだ房の上で咲いている。



下右 樹上で頑張っているな、と思いながら見ていると、落花。地面に落ちたばかりのものも美しい。

そのまま室内にもっていき飾ると半日はもつが、今回はそのままにしておいた。

開花した花の下の蕾は、次の日に開花する。





ローズマリー オレガノ レモング  
ラス ベチパー 台風をものともし  
ないハーブたち 2014年11月05日

植物の生育に絶好の季節になってきた。植え付けた苗、播いた種も発芽生育が進んでいる。

今回は、7月、10月と続いた台風のなかで、踏ん張ったというべきか、耐え抜いたというべきか、ものともしないというべきか、そんなハーブ

を4点紹介しよう。

上左 らせん型ハーブ園のローズマリー。7月の台風で、大きく傾いたが、直すのが難しかったので、そのままにしておいた。



たくさんの小枝が、向きを変えて、上方に伸びてきた。ローズマリーは、小さい時に台風などに出会うとダメージが大きく回復しないこともある

が、これくらいになると大丈夫のようだ。



中左 オレガノは、台風とは全く関係なく、平然と成長している。

中右 レモングラスも影響なく、ぐんぐん成長だ。



下左 ベチパーは、台風の影響というよりも、大きくなりすぎて茎が傾いてきた。主にゴキブリむけの防虫用にどんどん取っても、次々に伸びる。処分したくなるほどだ。希望者には遠慮なく差し上げている。

色づくコーヒーの実 リュウキ

ユウハギとクミスクチンの開花

サボテンの再生 2014年10月31日



右上写真 今回の第一ニュースは、コーヒーの実が色づいたことだ。一週間もすれば収穫だ。今年も台風で落ちた実が多い

が、それでも収穫開始して5年ぐらいのなかで、最大収穫になりそうだ。皮算用では、50杯ぐらいのコーヒーになりそうだ。

自家製コーヒー → 自家焙煎 のコーヒーを飲みたい方は、11月末までに来訪してください!?



左 春に購入した苗が大きくなって開花したリュウキユウハギ。ピンクが美しい。

中右 定番のクミスクチンが開花した。翻訳名の「猫のひげ」そのままの花だ。これから花のラッシュの季節だ。枝葉を収穫して薬用茶・薬用酒にしている。



10月13日来襲した台風後、折れた植物が新芽を出し始めた。

サボテンもほとんどが折れた。その代りに、成長が一年近く止まっていたところが、葉を出し成長し始めた。折れたところに代わって伸び始めたということもあるが、隣の木が折れて、日光が当たり始めたのが大きな要因だろう。



サボテンの成長は遅いので、全体が4メートルを超す元の大きさになるまでには、1～2年かかりそうだ。

台風被害と後片付けも終わり、こうした新しい芽葉枝などが出始め、半月もすると、庭畑全体が活気に満ちてくるだろう。

このところの作業は、台風でダメージを受けた箇所に、新しい種をまき、苗を植えること、芝生の手入れ、パッションフルーツの人口授粉、ウリズン豆やニラなどの収穫だ。

## 台風後片付け 大根などの種苗植え ナスタチウム ブルーベリー

2014 年 10 月 24 日

1 3 日の台風の後片付けはまだ続いている。台風後一週間ぐらいすると、潮風にやられた大量の葉が緑を失い、落ちてくる。ブーゲンビリアなどは可哀想なくらいだ。

そして、1 年近く雨量が多かったために、湿気を好む草に覆われた芝生の手入れも結構大変だ。

そうした間にも、野菜類の季節替わり対応作業が進む。

モロヘイヤの最後の収穫も近づく。ニラ・ツルムラ・ウリずん豆の収穫は続くが、あと一か月ぐらいでほぼ終わる。

1 1 月終わりから年明けまで収穫できる野菜類の種苗の植え付けを進めている。

中左 大根は今年初めての挑戦。現在は間引き中

中右 種は、数種類を混ぜて、堆肥とともに「まき散らす」のが私風。



下左 苗はというと、不耕起式の私は、土を少しだけ掘り、堆肥を入れて植え付けるだけ。至って簡単で、30分で50株ぐらい植えた。

下右 ナスタチウム（キンレンカ）が、あちこちで芽を出している。今春の開花後にできた種がこぼれたものだ。12月になれば、あちこちで開花するだろう。





玄関脇の酸性の鹿沼土と堆肥を中心にした鉢には、これまでアボガドなどを何度も植えたが、高温と台風に繰り返しやられた。今度はブルーベリーを植えてみた。うまくいく自信がないが、挑戦だ。



## パッションフルーツの開花結実 サボテン植え バナナコンテナ 2014年10月19日

我が畑のパッションフルーツは、春秋の2回開花し結実に至る。今秋は、9月末にたくさん咲き、すでに20個余り結実している。このごろ、開花の第二ラッシュが来た。12月に入ると収穫できそうだ。

私は物好きで、いろいろと試すことが好きだ。先日の台風で倒れたサボテンとバナナを生かす作戦を実行した。

下左 サボテンは5本折れたのだが、らせん型ハーブ園の真ん中も台風でやられて、空白になっているので、そこに埋めてみた。根付くかどうか、さっぱりわからない。期待するのみだ。

右 倒れたバナナを野菜コンテナにしてみた。このアイデアは、どこかのブログか何かの本かで見ただけの記憶がある。それにヒントを得て、実験。横倒しにして、割り船作りの要領で、くりぬいて土をいれたところに、チマサンチェの苗と、数種類の種をまいてみた。これがうまくいく自信は全くない。それにしても、くりぬいたバナナからは汁が滴り、栄養分は豊かだろうと思う。



## 台風19号が倒した木々

2014年10月13日

10日夕から激しくなり始めた台風19号は、12日夕になってようやく収まってきた。12日は私の誕生日だが、変わったプレゼントになった。

10日夕方、琉球大学授業の帰り道、与那原の海岸通りを走った。北東風にあおられて、海水が道路まで浸っていて、少々怖かった。

当初は沖縄本島の東側は通過するはずだったが、本島を直撃した。11日夜までは、北東方向の風だから、中城湾あたりは大変だったろうが、知念半島の丘にさえぎられて、玉城はそれほどでもなかった。南城の観測地点の糸数は丘の上であり、結構風が強い。45メートル吹いたということだが、我が家周辺は30～40メートルの風のように思う。深刻な事態をもたらしがちな50メートルを越す風でなくてよかった。そして、通過後の吹き返しの西南西の風が、12日未明から吹き続いた。

本島直撃になったが、それでも南城市は進路の西側になって、軽いほうだったろう。台風につきものの停電が、合計3回あったが、いずれも15分足らずで復旧したのは幸いだった。この記事を作成しているときにも停電し、記事の半分ぐらいが消えて、再作成になってしまったが。



12日夕方、暴風警報が解除され、我が庭畑を見て回った。北東の風による被害が大きかった。南西方向の風による被害は少ない。今年7月の台風を含めて、ここ3年ほど大きな台風の連続で、大きな幹や枝はすでに折れていたためか、被害は小さなものが多かった。

それでも、北風が当たる玄関付近を中心に大変だった。まずその北側から見ていこう。

中左写真 高さ4メートルを越すサボテンが、折れまくった。写真の手すりのところに、折れたものと、残った双方が写っている。こういう折れ方は3回目ぐらいだろうか。また、1年かけて回復するだろう。

中右 これまた高さ4メートルのキバナタイワンレンギョウ。一番太い幹が根元から折れ、全体の7割がやられた感じだ。これの整理作業は大変だ。



左 高さ4メートル近いミフクラギ。枝の2割ぐらいが折れた。



右 フウリンブッソウゲとオオバナアリアケカスラ。満開状態が続いていたが、花や小枝が飛んだ。でも、一か月もすれば回復するだろう。

中右 南西の風が当たった畑では収穫直前のバナナが一本倒れた。

下左 ティートリーの枝が数本折れた。大きな枝は、「折れ済み」だった。

台風のために折れるベランダの千年木は、今回は無事だった。ロープにくくりつけたのだが、くくりつけかたがよかったのだろうか。屋上のドラゴンフルーツは、まだ風が強いために見に行っていない。



これらの木々だけでなく、地面に散らばった枝葉の整

理を含めて、後片付けに1～2週間は必要だろう。

建物などは被害なし。ただし大きさ20センチほどのシーサー一対が、風で飛ばされ、双方とも足首を骨折。





クワンソウの花

トレニア・コン

カラーの花

2014年10月09日

我が家は、年がら  
年中、花が多いが、  
この時期、花の種



類・数ともに、格段に増える。そして大型の蝶が飛び交うのも増える。

オオバナアリアケカズラ、ハイビスカス、ブーゲンビリアといった定番。8日晚、皆既月食は、雲が出て見られず、代わりにとってなんだが、サワフジ（サガリバナ）を楽しんだ。「季節外れ?!」に咲いたことを話題にした新聞記事があったが、我が家のサワフジは、毎年6月から始まって、10月いっぱい開花して



いる。今が一番開花数が多いかもしれない。

今回は、2つの花を紹介しよう。

まず、この時期の定番のクワンソウの花（左上）。

何の手入れもしないが、どんどん植えている。増えすぎて困るほどだ。所望なさる方には、根っこごと泥つき



で差し上げている。

次は、トレニア・コンカラー（上右、中左、中右、下右）。これも強い。毎年種こぼれで広がるが、今年はちょっと不調なので、いくつか苗を追加して植えた。一つ一つの花が何ともいえず美しい。



## サンゴサボテンならぬユーフォルビア・ラクティア・クリスタータ

2014年10月06日

昨年、11月30日記事で書いたことだ。南城市のオープンガーデンで訪問した新垣嗣亀さん宅でいただいたサンゴサボテンの「本名」がわかった。

新垣さんは、我が家の敷地購入でお世話していただいた不動産屋の当時の社長さん。偶然の出会いだった。その時、いろいろ話はずんで、植物を二ついただいたが、その一つがサンゴサボテンだった。サンゴサボテンという名前は、新垣さんがおっしゃっていたものだ。なかなかいいネーミングだと思った。

インターネットを見ていると、偶然、同じものを写真で見つけたことをきっかけに、いくつかのウェブサイトを発見した。



う名前がわかった。これは、挿し木でどんどん広がる。もう20株ぐらいになっている。

正式名は、ユーフォルビア・ラクティア・クリスタータ。これもユーフォルビアだとは信じがたい。我が家には、ユーフォルビア・ダイヤモンドフロストがあるが、全く似ていない。

インドやスリランカが原産だそうだ。サボテンに似た多肉植物で、「怪物」に似ているという。別のサイトでは、青白い色をしていて、販売されていた。室内で、日光にあてないために、白に近い色をしている。

我が家のものは、緑、しかも濃緑に近い。いつも太陽にあたる場所においてある。新垣さんの所では、2メートルぐらいの高さで、畳一畳ぐらいの大きさだ。

成長が速い。新垣さん宅で折り取ったものを、我が家の鉢に植えたが、すぐに根付き今春から成長著しく、倍近い大きさになった感じだ。あと2年もすれば、鉢をはみ出すだろう。

新垣さんでいただいたもう一つも、ムラサキオモトとい



## マンゴー剪定

2014年09月30日

我が畑のマンゴーの木が巨大になりすぎたので、大胆な剪定をした。今年に入って購入した電動チェーンソーが大活躍。幹を10本以上切った。後片付けは、まだ三分の一しか終わっていない。それだけでも、一週間がかりの作業だった。

上写真が剪定前

下写真が剪定後。

高さ5メートルを3メートル近くまでにした。毎年少しずつはしてきたが、少しずつでは間に合わない。毎年大胆にやらなくては、と思う。

これで、収穫の時、地上から取れそうだ。6月のライチ収穫の時、木から落ちたのが強い衝撃になっ

るので、木のぼりはしたくない。

だから、今後いろいろな果樹の剪定に熱心にならなくてはならない。高さ3メートル以上になって、剪定が必要になりそうなのは、ライチ、マンゴーに加えて、カニステル、バンシルーだ。インドナツメも大きくなったが、これは蔓性なので、誘引作業が必要だ。アセローラなどは、2メートルぐらいから剪定を始めた。

我が畑の中心が、いよいよ野菜から果樹へと大転換してきている。





## ナタマメ 2014年09月23日

7月末にベランダのプランターに種を植えたナタマメが、収穫の時期を迎えた。

さやが大きくなったところで、硬くならない前に食べる。まあまあいけるという感じだ。昨年苗を地植えしたものを2, 3個食べた以外は経験なしなので、評価するには体験がなさすぎる。



新聞広告で健康食品としての全面広告があったので、試しているところだ。清楚な花が受粉すると、さやが大きくなる。

3階のプランターから、ネットを伝って、現在は4階まで広がっている。

栽培も食材としても、これから経験を積んでいきたい。難しそうではない。

現在、収穫真ただ中の我が畑の野菜は、モロヘイヤ、ウリズンマメ、ツルムラサキ、ニラ、カンダバーだが、もうしばらくすると、ナタマメも加わりそうな気配だ。

## ニラとカンダバーの収穫

2014年09月12日

7月台風は、畑庭を荒らしたので、後片付けに手間取った。2か月たってようやく完了した感じだ。面倒なのは、倒れ掛かった棚などの復活。落ちた枝葉の整理だ。我が庭畑だけでなく、近隣の森からの「もらい物」が多いのだ。

清掃しながら、遅れた収穫をするものがある。

まず、カンダバーの収穫整理だ。枝葉を食べるように品種改良されたものだ。中左写真は、おひたしにしたもの。ほうれん草と、どちらが美味しいか勝負になる感じだ。

右下のニラも大量収穫だ。

双方とも、私流の自然農法。要するに放置農法だ。有機肥料をたまには少し与えるが。

食べるころだけを切り取る。あとの枝や根はそのまま残しておく。すると、何か月もたたないうちに再収穫になる。4～5年すると、全部掘り出して更新する。堆肥づくりを畑を順々に移動してやっているが、



そのくらいで順番がまわってくるので、掘り出すことになる。



## 我が家の夕陽さえぎり役の千年木

2014年09月08日

我が家は、南南西に向いているので、夕陽を遮る必要がある。その役目を、ベランダに置いた千年木に果たしていただいている。ここに住み始めてすぐに、挿し木で鉢植えにしている。3階ベランダには現在10鉢。約50本。

挿し木はいたって簡単。幹を10～40センチぐらいに切って、地面に刺すだけ。しばらく水に浸けておけば、なおいい。成功率は80%以上だ。地面に刺す前に、棒で穴をあけておけば、なおいい。1990年に沖縄から移るとき、土産という意味で、また西原の家にあったものの記念という意味で、千年木を数本持っていった。挿し木で愛知の家で育て、また、知人友人に配った。中京大学研究室にも置いた。中京大学を退職するとき、事務室に記念で差し上げた。

問題は、台風時の強風対策。一つは鉢を大きくして倒れるのを防ぐこと。風速35メートルを越えそうなときは、さらに幹をロープで、壁面に固定する。7月の台風は50メートル吹いたが、倒れないで、10数本がロープで固定した個所の上で折れた。

台風後、2か月がたち、折れた枝から新たなものが伸びてきて、現在30センチほどになる。左下写真

台風被害は、おおよそ半年で元通りになる。千年木は強力なのだ。

右下写真 最近は、4階ベランダでも育て、私の仕事部屋を暑さから守り始めている。4階は暑いですが、屋上に、太陽光発電パネルとドラゴンフルーツ鉢10数個を置き、窓辺は千年木という複数作戦で、温度を下げられるようになり、夏場でも仕事しやすくなった。



## モロヘイヤ ウリズン豆 ツルムラサキ 我が畑の

## 最新野菜事情

2014年09月04日

7月台風の影響もあるにしても、我が畑では、毎年この時期は野菜の端境期となる。そのなかでも、収穫している三つを紹介しよう。

右 モロヘイヤ

数年前から定番になってきた。育て方もようやく身について軌道に乗ってきた。7月から収穫を開始し、多分12月初めまで続くだろう。

今年は、種まきから始めた。例年は、こぼれ種からはじめるが、運不運がありすぎる。間引きによる収穫から始める。間引きしないで残



ったものが、高さ30センチぐら

いになったら、適度のところで切って収穫し、脇芽を育てる。脇芽が十分大きくなったら、脇芽が出たところから切り取って収穫する。そうしないと繁茂しすぎて、虫が着きやすい。

元肥は堆肥だが、生育中は有機液体肥料を与えている。

現在、ベランダと畑の双方で生育中。毎日食べているが、供給過剰になりつつある。

それにしても、新鮮なものは、とても美味しい。

中左 ウリズン豆 (リュウキュウシカクマメ) これまた数年前から育ててきたので、ようやくコツがわかってきた。前年生育収穫した苗を、そのまま大きくする。4年目のものもある。種から育てるものもある。発芽が難しいが。苗不足の時は、購入苗を追加することもある。

7月末からぐんぐん大きくなる。今年は、購入苗がまずは、開花→収穫となった。8月末からだ。これからは、一日あたり数個以上の収穫になりそうだ。多い日は30個にもなる年もあった。12月初めまで続くだろう。だから、我が畑では、夏野菜というより秋野菜といえるだろう。年を越したころ、蔓葉を整理して、根際10センチぐらいを残して来年に備える。これもまた美味しい。店で買うと、結構な値段だ。

下右 ツルムラサキ これは、全くの放置状態だが、収穫に至る。初夏から伸びる速度を速め、8月からは連日収穫となる。現在、10か所ぐらいから伸びてくる。思わぬところから蔓が伸びてくることも多い。伸びてくる蔓をどこかに伝わせた方が、都合がいい。

これも、ねばねばした感じが美味しい。

